様式２

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第１・２学年 地理的分野	地理・726	中学社会 地理　地域にまなぶ
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　世界の地域構成に関する内容 　地球儀や世界地図を活用して大陸と海洋のおよその位置から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の成り立ちから世界の国や地域についての関心を高めたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界各地の人々の生活と環境に関する内容 　世界各地の自然環境の違いや衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、民族や言語等のかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界の諸地域に関する内容 　世界の6つの州ごとに地勢や気候、民族、州境の分布図等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「多様性と経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界の様々な地域の調査に関する内容 　インドの調査例を示し、歴史や文化、生活等、適切な主題を設けて追究したり、調査したことをまとめ、発表する学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本の地域構成に関する内容 　地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称と位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界と比べた日本の地域的特色に関する内容 　地形や気候と関連する自然災害と防災への取組を取り上げたり、世界的視野から資源やエネルギーに関する課題や国内の産業の特色を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本の諸地域に関する内容 　日本を西南部、中央部、東北部に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　身近な地域の調査に関する内容 　愛知県名古屋市での調査例を示し、テーマの設定や調査方法、調査結果のまとめ方や発表の方法を取り上げたり、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を身に付けたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「世界の様々な地域」は 114 ページ、「日本の様々な地域」は 141 ページであり、総ページ数は 279 ページで、前回と同様となっている。			
使用上の配慮等	○　北海道の自然環境を生かしたくらしや農業の特色等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げたり、アイヌ語に由来する主な地名やアイヌの人たちの歴史・文化の継承の取組を考察する資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「地理にアプローチ」で、地図やグラフ等の見方を身に付ける活動を取り上げたり、「読み解こう」で、資料を読み取り、考えを深める活動を取り上げたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の見方や使い方について説明するページを設けるとともに、巻末に用語解説や世界の家畜の写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道に関連ある教材は、北方領土について 5 ページ、「日本の諸地域」における北海道地方について 13 ページ、アイヌの人たちの歴史・文化等について 14 箇所が取り上げられている。 ○　小学校で学習した地図、グラフに関する基礎的な知識を確かめる作業活動を位置付け、中学校第１学年への円滑な接続が図られている。 ○　色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮されている。			